

【資料4】分析結果：行動を促す会話における「待遇表現行為」一覧

(1) 「人間関係 relation」に関する相互行為

R 1

行為の開始 : 「働きかけ主体」 / 「行動主体」

相互行為 : 相互に相手を確認しあう

待遇効果 : 会話における人間関係が調整される

典型例 :

「働きかけ主体」: 「～さん？」と相手を確認する・「～ですけど」と名乗る

「行動主体」 : 「はい」と了解する

R 2

行為の開始 : 「働きかけ主体」 / 「行動主体」

相互行為 : 挨拶し合う

待遇効果 : 相互に関係がつながる

典型例 :

「働きかけ主体」: 挨拶する

「行動主体」 : 挨拶する

R 3

行為の開始 : 「働きかけ主体」

相互行為 : 久しぶりに会うことを確認する

待遇効果 : 相互に関係がつながる

典型例 :

「働きかけ主体・行動主体」: 「久しぶり」で相手と久しぶりに会ったことを表す

「働きかけ主体・行動主体」: 「久しぶり」と受け入れる

R 4

行為の開始 : 「働きかけ主体」

相互行為 : 「働きかけ主体」が「いつもお世話になります」と常日頃の「行動主体」の恩恵に感謝する

待遇効果 : 相互に関係がつながる

典型例 :

「働きかけ主体」: 「いつもお世話になります」と常日頃の恩恵に感謝する

「行動主体」 : 「いつもお世話になります」と常日頃の恩恵に感謝する

R 5

行為の開始：「行動主体」

相互行為：以前受けた行為について御礼を言って受け入れられる

待遇効果：相手と関係がつながる

典型例：

「行動主体」：以前受けた行為について「ありがとう」と御礼を言う

「働きかけ主体」：「いえいえ」と受け入れる

R 6

行為の開始：「働きかけ主体」

相互行為：謝罪して受け入れられる

待遇効果：相互の関係がつながる

典型例：

「働きかけ主体」：「働きかけ」でかけた負担について謝罪する

「行動主体」：受け入れる

R 7

行為の開始：「働きかけ主体」

相互行為：御礼をして受け入れられる

待遇効果：相互の関係がつながる

典型例：

「働きかけ主体」：「働きかけ」を受けてくれたことに御礼する

「行動主体」：受け入れる

R 8

行為の開始：「働きかけ主体」

相互行為：受諾された後、会話の後の両者のつながりを「よろしく」、「また連絡します」、「お願いします」などで示し、承諾される

待遇効果：相互の関係がつながる

典型例：

「働きかけ主体」：会話の後の展開を示す（「よろしく」など）

「行動主体」：受け入れる

(2) 「場 situation の安定」に関わる表現行為

S 1

行為の開始 : 「働きかけ主体」

相互行為 : 「行動主体」が今話しても大丈夫な状況かどうか確認する

待遇効果 : 相手の状況が尊重される

典型例 :

「働きかけ主体」: 「今大丈夫？」と相手の状況を確認する

「行動主体」: 「うん大丈夫」で自分の状況を保証する

S 2

行為の開始 : 「働きかけ主体」 / 「行動主体」

相互行為 : 笑う (笑い合う)

待遇効果 : 会話の「場」をカジュアルに変容させる

典型例 :

「働きかけ主体」 / 「行動主体」: 笑う

「行動主体」 / 「働きかけ主体」: 笑う

(3) 「行動前提の伝達と理解 pre-condition」に関わる表現行為

P 1

行為の開始 : 「働きかけ主体」

相互行為 : 「行動前提」について具体的に確認しあい、「当然性」を固める

待遇効果 : 「働きかけ」の負担が軽減される

典型例 :

「働きかけ主体」: 「行動前提」について情報確認する

「行動主体」: 確認する

P 2

行為の開始 : 「働きかけ主体」

相互行為 : すでに共有しているはずの「行動前提」を確認して「当然性」を固める

待遇効果 : 「働きかけ」の負担が軽減される

典型例 :

「働きかけ主体」: お互いが共有しているはずの「行動前提」を確認する

「行動主体」: 了解する

P 3

行為の開始 : 「働きかけ主体」

相互行為 : 「行動前提」として行動の必然、緊急性、必要性を確認し、「当然性」を固める

待遇効果 : 「働きかけ」の負担が軽減される

典型例 :

「働きかけ主体」: 「行動前提」としてその行動は必然である、緊急である、必要であると評価して伝える

「行動主体」 : 受け入れる

P 4

行為の開始 : 「働きかけ主体」

相互行為 : 「行動前提」としてある自分の願望、意思、判断を表すことで「当然性」を提示し、それが容認される

待遇効果 : 相手の願望、意志、判断が尊重される

典型例 :

「働きかけ主体」: 「行動前提」として自分の願望や意思を表す

「行動主体」 : 受け入れる

(4) 「行動条件の伝達と理解 condition」に関わる表現行為

C 1

行為の開始 : 「働きかけ主体」

相互行為 : 「行動条件」について具体的に確認しあい、「当然性」を固める

待遇効果 : 「行動」の負担が軽くなる

典型例 :

「働きかけ主体」: 「行動条件」の中の一つの項目について情報提供する

「行動主体」 : 了解する

C 2

行為の開始 : 「働きかけ主体」

相互行為 : 「行動条件」について主観的な評価 (負担が軽減されるような) を伴って情報を確認し合って「当然性」を固める

待遇効果 : 「行動」の負担が軽くなる

典型例 :

「働きかけ主体」: 「行動条件」の中の一つの項目について主観的な評価 (大小、良い

悪い等) を伴って情報供する

「行動主体」 : 受け入れる

C 3

行為の開始 : 「働きかけ主体」

相互行為 : 「行動主体」が出した「行動条件」を取り上げて新しい「行動条件」を提案し、了解されて、「当然性」が高まる

待遇効果 : 相手の都合を尊重し、「行動」の負担が軽減する

典型例 :

「働きかけ主体」 : 「行動主体」が可能な「行動条件」を確認する

「行動主体」 : 「それなら大丈夫だと思う」とその条件を了解する

C 4

行為の開始 : 「働きかけ主体」 / 「行動主体」

相互行為 : 逆説得。「行動主体」が「働きかけ主体」に、自分で行動するように勧めたところ、「行動主体」がそれに同意する。行動を働きかける「当然性」は下がる。

待遇効果 : 「働きかけ」を止める負担が軽くなる

典型例 :

「働きかけ主体」 : 「行動主体」が「働きかけ主体」に、自分で行動するように勧める

「行動主体」 : 同意する

C 5

行為の開始 : 「働きかけ主体」

相互行為 : 「働きかけ主体」が「行動条件」の中の一つについて代案がないことを示して確認する

待遇効果 : 相手の都合を尊重しないので「行動」の負担が重くなる

典型例 :

「働きかけ主体」 : 「行動条件」の中の一つについて代案がないことを示す

「行動主体」 : 了解する

C 6

行為の開始 : 「働きかけ主体」

相互行為 : 「働きかけ主体」が「行動条件」について説明するときに、「行動主体」の動作には恩恵表現「てもらう」と使い、了解される

待遇効果 : 相手の行動により自分に返る恩恵を示す

典型例：

「働きかけ主体」：「働きかけ主体」が「行動条件」について説明するときに、「行動主体」の動作には「てもらう」と恩恵を持って依頼する

「行動主体」：了解する

C 7

行為の開始：「働きかけ主体」

相互行為：「働きかけ主体」が「行動条件」について説明するときに、自分の動作は「させてもらう」で許可を求め、了解される

待遇効果：相手の行動により自分に返る恩恵を示す

典型例：

「働きかけ主体」：「行動条件」について説明するときに、自分の動作には恩恵表現「させてもらう」と使う

「行動主体」：了解する

C 8

行為の開始：「働きかけ主体」／「行動主体」

相互行為：「行動主体」が「行動条件」について助言し、了解される

待遇効果：上下の役割の意識化＋「行動」の負担が軽減される

典型例：

「行動主体」：助言する

「働きかけ主体」：受け入れる

(5) 「働きかけと働きかけられ working」に関わる相互行為

W 1

行為の開始：「働きかけ主体」

相互行為：「お願いがあるんだけど」と「働きかけ」を予告して容認し合う

待遇効果：会話の意図が明らかになり「働きかけ」の負担が軽減される

典型例：

「働きかけ主体」：働きかけを予告する

「行動主体」：了解する

W 2

行為の開始：「行動主体」

相互行為：「行動主体」から「どうしたんですか」と「働きかけ」を促す

待遇効果 : 「働きかけ」の負担が軽減される

典型例 :

(「働きかけ主体」: 「あの一」「えっと一」と言いよどむ)

「行動主体」: 「どうしたの」と働きかけを促す

「働きかけ主体」: 働きかけを始める

W 3

行為の開始 : 「働きかけ主体」

相互行為 : 「突然なんだけど」と「働きかけ」を低く評価する

待遇効果 : 「働きかけ」の負担が軽減される

典型例 :

「働きかけ主体」: 「突然である」「急ぎの用件ではない」「たいしたことではない」と
「働きかけ」を低く評価する

「行動主体」: 受け入れる

W 4

行為の開始 : 「働きかけ主体」

相互行為 : 「働きかけ主体」が明示的に働きかけて「行動主体」に容認され、「当然性」の高さが確認される。「隣接ペア崩し」になると否定的マークとなる。

待遇効果 : 「働きかけ」の負担がかかる

典型例 :

● 「働きかけ主体」: 働きかける

「行動主体」: 受け入れる (受諾)

▲ 「働きかけ主体」: 働きかける

「行動主体」: うーん (否定的マーク)

W 5

行為の開始 : 「働きかけ主体」

相互行為 : 明示的に働きかけたところ、「嫌だ」と主観的に断る

待遇効果 : 相手の願望を尊重せず、主観的に「働きかけ」を止める負担がかかる

典型例 :

● 「働きかけ主体」: 働きかける

「行動主体」: 受け入れる (受諾)

▲ 「働きかけ主体」: 働きかける

「行動主体」: うーん (断り)

W 6

行為の開始 : 「働きかけ主体」

相互行為 : 「働きかけ主体」が「行動主体」の「断り」を予測して先取り、容認されることで「当然性」の低さが示される

待遇効果 : 「働きかけ」の負担が軽減される

典型例 :

「働きかけ主体」: 「だめならだめだと言っていいから」と断りを先取る

「行動主体」 : 了解する

W 7

行為の開始 : 「働きかけ主体」

相互行為 : 「働きかけ主体」が明示的に働きかけて「行動主体」に受諾され、「当然性」の高さが確認される

待遇効果 : 「働きかけ」の負担がかかる

典型例 :

● 「働きかけ主体」: 働きかける

「行動主体」 : 受け入れる (受諾)

W 8

行為の開始 : 「働きかけ主体」

相互行為 : 交渉の途中、交渉の後で、明示的に受諾の再確認をし合う

待遇効果 : 「働きかけ」の負担が軽減される

典型例 :

「行動主体」 : 「いいね」と受諾を促す

「働きかけ主体」: 「いいよ」と受諾する

(6) 「やりとりの管理 management」に関わる相互行為

M 1

行為の開始 : 「働きかけ主体」 / 「行動主体」

相互行為 : 電話が通話しているか確認し合う

待遇効果 : 会話の「場」を相互で確認することでやりとりが安定する

典型例 :

「働きかけ主体」: 「もしもし」と通話しているか確認する

「行動主体」 : 「もしもし」と通話しているのを確認する

M2

行為の開始 : 「働きかけ主体」

相互行為 : 「あのね」等と促しに移行することを示す

待遇効果 : 会話の展開がわかりやすくなり、負担が軽減される

典型例 :

「働きかけ主体」: 「あの」で働きかけを開始する

M3

行為の開始 : 「働きかけ主体」 / 「行動主体」

相互行為 : 「じゃ」、「じゃあ」等で次の行動の確認に入ることを確認し了解される

待遇効果 : 会話の展開がわかりやすくなり、負担が軽減される

典型例 :

「働きかけ主体」: 「じゃあ」

「行動主体」: 受け入れる